

2022年10月13日 見学会報告

## 「北8西1地区第一種市街地再開発事業 施設建築物新築工事」現場見学会

公益社団法人 日本建築積算協会北海道支部

副支部長 前村 悟

令和4年10月13日(木)に北海道支部として、3年ぶりとなる現場見学会を開催致しました。積女ASSALの活動を兼ねての見学会となりました。当日は天候にも恵まれ、久しぶりの開催を祝福してくれているようでした。



～～ “積女”の皆様 ～～

さて、今回の見学現場は札幌駅北東にそびえたつ皆さん一度はご覧になったことがあるでしょう最高高さ175m 地上48階建(見学時は46階床まで打設)の「北8西1地区第一種市街地再開発事業 施設建築物新築工事」です。札幌駅と地下で直結する計画になっており、地下通路工事も並行して行われています。

### ■ 工事概要

発注者	札幌駅北口8・1地区市街地再開発組合
設計者	大成建設株式会社 一級建築事務所
監理者	株式会社ドーコン
施工者	大成建設・伊藤組土建・スターツCAM 共同企業体
工期	2020年7月1日～2023年12月31日
構造	鉄筋コンクリート造、一部 鉄骨造
	A棟 地下2階、地上48階、塔屋2階
	B棟 地下1階、地上14階、塔屋1階
用途	A棟 共同住宅、店舗(物販・飲食等)、 多目的ホール、事務所、自動車車庫
	B棟 ホテル、店舗
敷地面積	11,680.13m <sup>2</sup> (A 9,712.88、B 1,967.25)
建築面積	8,402.65m <sup>2</sup> (A 6,982.88、B 1,419.77)
延床面積	112,805.60m <sup>2</sup> (A 98,373.65、B 14,431.95)

はじめに、現場事務所の会議室で大成建設株式会社の石郷副所長より工事概要及び見学時の注意事項について説明を頂きました。本工事の目玉であるタワークレーン一体型クライミングシステム『テコアップシステム』を国内で初めて採用しています。このシステムは本設柱を利用してタワークレーンを搭載した専用鉄骨フレームを上昇させて施工するものであり、以下の特徴があります。

- ① 従来の床に開口部を有する場合と比べ、躯体床と干渉せずに施工を行え、効率的に作業を進めることができる。
- ② クレーン揚重能力を最適化し、従来よりも小型のクレーンで施工することができ、躯体補強なども不要となる。
- ③ 上記より、工期短縮によるコスト低減及びCO2排出量削減を実現している。

最終的に超高層建築物の自動化施工および全天候型(全閉)施工が可能な工法として、さらなる技術開発を進める予定のようです。

テコアップシステム  
クレーン



～～ 完成予想模型 ～～

次はいよいよ現場へ出発です。A 棟へ到着後、早速ロングスパンエレベーターに揺られながら上部へ、そして内部に潜入しました。降り立った 39 階は躯体工事完了段階で、大きなサッシからは JR タワーの上層階が隣に並ぶ眺望となっており、滅多に見ることのできない景色にとっても気持ち良かったです。そこから階段を降りて耐火間仕切施工中の 28 階、下地完了後でクロス・フローリング施工前の 21 階を見学しました。下へ行くに連れて工事が進んでいく様子を見ることができました。住戸部分はボイドスラブによって梁が少なく、大きな空間になっていました。

続いて 3 階商業部分へ、さらに B 棟に移りホテル客室を見学しました。躯体工事迄でしたので、どのような仕上がりになるのか楽しみでぜひ完成後に足を運びたいと思いました。



～～ 梁の少ない大空間 ～～



～～ 札幌駅より ～～

各住戸・客室には QR コードがあり工事の進捗状況をアプリで確認・管理できるようになっており、大規模工事で全体を把握できる素晴らしい工夫と感じました。又、見学中には「現場キレイだね」という声も聞こえてきました。

最後に事務所へ戻り質疑応答を行いました。現在の作業員は 500 人程度で最盛期には 600 人になるとのことでした。現在の労務不足を打破する為、柱・梁・床版・バルコニーを PCa 工法とすることで工期短縮をしていました。帰る頃には足が棒になっていましたが、それは今回の見学の充実度を物語っていました。

今回の現場見学会を開催できたことを作業所ならびに協賛団体の方々に厚く御礼申し上げます。



～～ 事務所から見上げた A 棟 ～～



～～ A 棟 39 階にて ～～